

東京大学情報学環 記録映画アーカイブ・プロジェクト 第9回ミニワークショップのお知らせ

「戦争を描かなかった『文化映画』～戦時期の藝術映画社の作品から」

日時: 2017年9月29日(金) 18:00～20:30(開場は17:30)

場所: 東京大学本郷キャンパス工学部2号館93B教室

地図 <http://media-journalism.org/access>

定員: 80名(当日先着順・申し込み不要・参加無料)

上映作品



『雪国』(1939年 38分)

監督 石本統吉

撮影 橋本龍雄・井上堯

『或る保姆の記録』(1942年 35分)

監督 水木荘也

脚色 厚木たか

撮影 橋本龍雄



お話: マーク・ノーネスさん(米ミシガン大学教授)

概要:

1930～1940年代の日本では、映画国策の一環として記録映画を含む「文化映画」というジャンルが設定されました。この文化映画には、戦地や日本軍の様子を描いて戦意昂揚させる作品が目立った一方で、直接的には戦争を描かず、国内の社会状況を取り上げる作品も多く生み出されました。

ゲストに日本のドキュメンタリー映画史に詳しいマーク・ノーネスさんをお招きして、当時の文化映画が戦争以外に何を描こうとしていたのかについて考えます。

* お問い合わせ: 記録映画保存センター(運営窓口) [Tel:03-3222-4249](tel:03-3222-4249)

Email: center_otoiawase@kirokueiga-hozon.jp